高度外国人材が活躍できる関西をめざして
～関西高度外国人材活躍地域コンソーシアムの取り組み～

経済産業省が主導する「高度外国人材活躍地域コンソーシアム」は、留学生をはじめとする高度外国人材が日本企業で活躍することをめざし、2022年から段階的に全国６地域に設立されてきた。関西では、2023年２月に京都府、大阪府、兵庫県、３府県の日本貿易振興機構（ジェトロ）、近畿経済産業局、大阪出入国在留管理局、グローバル人材活用運営協議会、当会の参画の下、「関西高度外国人材活躍地域コンソーシアム（関西コンソーシアム）」（事務局：関経連）が活動を開始している。今号ではその2024年度の取り組みを紹介する。

関西コンソーシアムの事業コンセプト

「関西コンソーシアム」は、関西における外国人留学生の日本企業への就職促進に向けて、2023年度から５年の事業期間で活動を行うこととしている。具体的には、「企業および留学生向けセミナーの開催」「ジョブフェア（合同企業説明会）の開催」「高度外国人材の企業での活躍事例の取りまとめ」の３つの事業を実施している。

事業を進めるにあたっては、「合同企業説明会等への企業の出展数や留学生の参加者数は多いものの、実際に就職に結びつくマッチング率が低い」という参画機関が共通して抱える問題に着目した。その要因の一つにあげられるのが、「採用や就職において、企業と留学生が互いに求めるものの間のギャップ」である。企業は外国人留学生の採用に際し、日本語でのコミュニケーションを含め日本人と同等の能力を求める傾向にあり、さまざまな文化的背景から生じる多様な視点や価値観を重視することが少ない一方、外国人留学生は、企業の知名度を重視して就職活動を行う傾向が強く、特に中小企業への就職に結びつきにくいのが現状である。

そこで、関西コンソーシアムはこのギャップを埋め、関西地域での外国人留学生の就職率を高めるための取り組みを進めている。2024年度は、企業が抱える経営課題の解決につながり、かつ留学生の関心があって、自身が活躍する姿を想像しやすい「DX・デジタル化」を事業の統一テーマとした。企業に関しては、日本に留学している優秀な外国人材の能力やスキルに目を向けてもらうこと、また外国人留学生には、企業名にとらわれず自身の活躍やスキルアップに重点を置いて就職先を選ぶことの重要性を認識してもらうことを目標に活動を進めている。

企業向けセミナーの開催

2024年９月26日には、企業向けに「DX・デジタル化推進に向けた外国人留学生採用セミナー」を開催。会場・オンライン合わせて約50名が参加した。

第一部では、藤本翔平 藤本産業社長が登壇し、高度外国人材４名のみで構成される同社のDX推進室の設立についてや、その活躍により自動在庫管理システム開発に成功したことなど、外国人留学生の採用が社内のDX・デジタル化の進展につながっている例を紹介した。

第二部では、吉田圭輔 ジェトロ高度外国人材スペシャリスト（関西高度外国人材活躍地域コンソーシアムコーディネーター）が、高度外国人材の雇用とDX推進には、経営者のリーダーシップが不可欠であると提起し、藤本産業の取り組みを例に、直感や想像力を生かすこと、そして広い視野を持つ、目標の基準を引き上げる等のリーダーのマインドセットが求められることを訴えた。

外国人留学生向けジョブフェア（合同企業説明会）の開催

10月29日には、ジョブフェア「KANSAI DX Job fair and Seminar　DX・デジタル化を進める企業×外国人留学生」を開催した。

ジョブフェアの様子

このジョブフェアには、DX・デジタル人材として外国人留学生の採用を希望する企業９社（図）が出展し、それぞれのブースで自社のDX事業の概要や、採用にあたって求めるスキル等の説明を行った。終了後のアンケートでは、出展企業のうち６社が「ぜひ採用したい人材に出会えた」と回答したほか、「やる気のある学生が多く見受けられたため、学部などがマッチすれば採用を前向きに考えたい」との声も聞かれた。参加した留学生は、情報系の分野やマーケティング等を専攻する大学生・大学院生、専門学校等に在籍する（文理不問）学生約120名で、ジョブフェアと同日に開催されたガイダンスを兼ねたセミナーを受講した後、会場でブースを回り、採用条件等に関して熱心に質問をしていた。アンケートでは参加者の78.9％が「ぜひ就職したいと思える企業に出会えた」と回答したほか、「さまざまな分野の企業がDX・デジタル化に取り組んでいることを知ることができた。就職を考える上で非常に役立つ」といった感想が寄せられた（図）。

12月現在、ジョブフェアに参加した留学生が出展企業の採用選考やインターンシップに進んでいる事例もあり、採用に結びつくことが期待される。なお、本ジョブフェアは、関西のデジタル化、DX推進の機運醸成のために実施している「関西デジタル・マンス」のイベントの一環として開催した。

関西地域の高度外国人材活躍事例

関西コンソーシアムでは、2023年度から関西地域において高度外国人材が活躍している企業へのインタビュー等をまとめ、好事例として６件の事例をジェトロのポータルサイトに掲載している。2024年度は、ジョブフェアの出展企業を対象に活躍中の外国人材や企業へのインタビューを中心にまとめ、年度末に公表する予定である。

※ポータルサイトへのアクセスはこちら

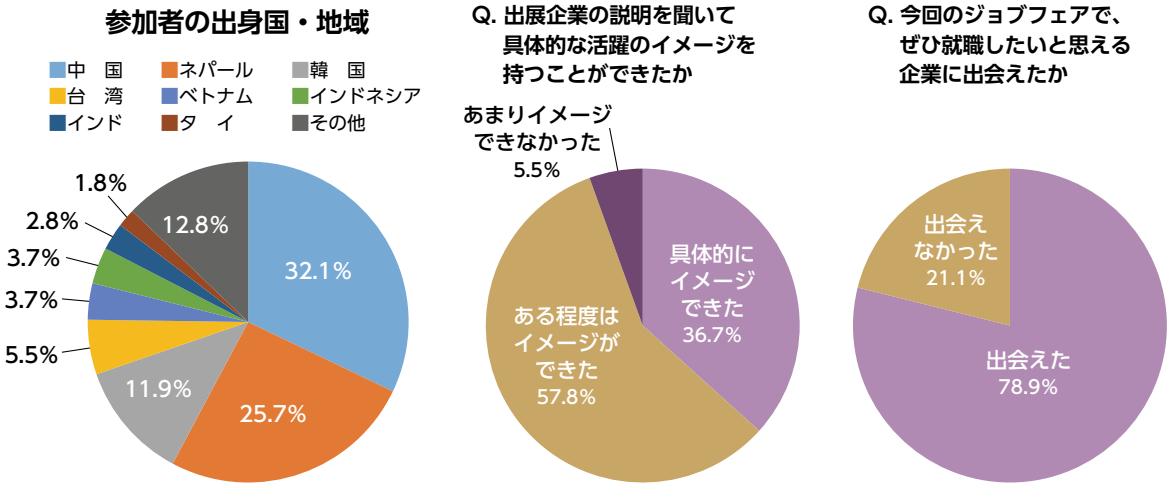
高度外国人材の活躍に向けた環境整備を

当会では、「関西ビジョン2030」に掲げた「７本の矢」の一つである「多様な人材が能力を最大限発揮できる環境整備」に向け、関西コンソーシアムの取り組みを通じて、留学生をはじめとする高度外国人材の活躍に向けた取り組みを今後も進めていく。

（労働政策部 松尾知美）

図 ジョブフェア出展企業および参加者へのアンケート結果

〈出展企業一覧〉 ※順不同

企業名		
日本航空株式会社	藤本産業株式会社	伊東電機株式会社
カワソーテクセル株式会社	千代田空調機器株式会社	株式会社フジ・データ・システム
不二製油株式会社	ART株式会社	株式会社洲本整備機製作所

〈参加者へのアンケート結果〉